



3回シリーズ

がんワクチン、 遺伝子改変・再生免疫細胞療法の開発

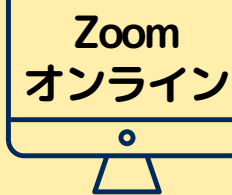


第2回

2023

5/10 水

17:00▶18:30



CAR-T細胞療法



玉田 耕治

山口大学 大学院医学系研究科 免疫学講座 教授

CAR-T細胞療法における最新技術の研究と開発

近年、がんに対する先進的治療法として遺伝子改変型免疫細胞療法の研究と開発が大きく進展している。

特に、血液がんに対するCAR-T細胞療法は優れた治療効果を発揮することが実証され、標準治療として認められるようになった。今後、CAR-T細胞療法は更なる技術改良によって、今以上に効果的で安全な治療法となり、適応が拡大する可能性を有している。

本講演では、CAR-T細胞療法の歴史を振り返るとともに、その最新技術及び将来展望について概説する。

参加登録はこちら！

https://us02web.zoom.us/meeting/register/tZMkcuyrrzgtGNRHcFkzI0OdCpuo1U_Ebg1t

登録後、ミーティング参加に関する情報の確認メールが届きます。



柳生 茂希

信州大学 学術研究・産学官連携推進機構 教授

非ウイルス遺伝子改変法によるCAR-T細胞の開発と臨床応用

キメラ抗原受容体T細胞(CAR-T細胞)の臨床応用が可能となった現在でも、ウイルスベクターを用いたCAR-T細胞製造は、薬効や安全性の問題など解決すべき課題は多い。我々のグループは、非ウイルス遺伝子改変法の中でも、ピギーバクトランスポゾン (PB) を用いたCAR-T細胞製造に注目し、安全性と社会実装コスト削減、さらには、機能向上を目指したCAR-T細胞製剤開発に取り組んできた。昨今の研究の進歩により、PB法によるCAR-T細胞は、メモリー機能を有し、疲弊しにくい特徴を持ち、持続的な抗腫瘍効果を示すことが期待されている。本講演では、PB法によるCAR-T細胞の特性と、国内外におけるPB CAR-T細胞製剤の開発状況を紹介する。

第3回 iPS細胞由来免疫細胞療法

6/28 水

金子 新 京都大学 iPS細胞研究所 副所長・教授

17:00-18:30

植村 靖史 国立がん研究センター 先端医療開発センター 免疫療法開発分野 ユニット長

